

令和8年4月

保護者の皆様

錦岡保育園

園長 宇佐記幸

## 令和7年度錦岡保育園の自己評価について

新年度がスタートして新しく入園した子どもたちも加わり、保育園は子どもたちの元気な声でいっぱいです。

さて、保育の質の向上を目指して毎年保育園の自己評価を実施しておりますが、卒園児の保護者と保育士による令和7年度の評価をとりまとめましたので、結果をお知らせいたします。

評価の項目と内容は、保護者からはⅠ「**保育園の運営や保育計画について**」、Ⅱ「**保育活動の取組について**」、Ⅲ「**保護者との対応や支援について**」、Ⅳ「**保育環境や保育を支える取組について**」の4分野について、A～Eの5段階で評価していただき、Ⅴ「**質問項目に関する意見や要望を含め、保育園に対する率直な意見や感想をご自由にお書きください。**」で記載していただきました。

### [アンケート内容] (令和8年3月卒園)

#### I 保育園の運営や保育計画について

(1)園の保育目標は知っていますか。

○保育目標「元気に遊べる子⇒人の話を聞ける子、思いやりのある子、素直に謝れる子、挨拶のできる子、意思表示のできる子」

(2)園の保育内容や取り組み方を理解していただけましたか。

#### II 保育活動の取組について

(1)教育的な活動よりも、遊び中心に心身のバランスのとれた子どもの全面発達を重視して保育する考え方に賛同できますか。

(2)中でも、錦岡保育園が重視している保育の取組として次の3点がありますが、これらの活動について

- ・四季を通した散歩による自然との触れ合い
- ・日常的なリズム活動
- ・どろんこ遊び

(3)基本的な生活習慣に関する取組は十分でしたか。

(4)健康管理やケガ等への対応はいかがでしたか。

(5)保育園は楽しんで通園しているようですか。

(6)園の保育活動全般についての感想はいかがですか。

### Ⅲ 保護者との対応や支援について

- (1) 保護者との懇談会の回数や時間は、いかがですか。
- (2) 職員は話しやすい雰囲気でしたか。
- (3) 保育参観や行事には、参加しやすかったですか。
- (4) 保育園に対する苦情は、意見箱を利用して伝えられることをご存知ですか。
- (5) 園からのお知らせや情報発信は、分かりやすかったですか。
- (6) 園内の掲示や表示は、役に立ちましたか。

### Ⅳ 保育環境や保育を支える取組について

- (1) 事故防止に向けた遊具等の安全配慮や設備の整備は十分だと思いますか。
- (2) 感染症や食中毒などの保健衛生対策は、十分だと思いますか。
- (3) 不適切な保育と感じたり、思ったことはありませんか。
- (4) 子どもを安心して預けることができましたか。

Ⅴ 質問項目に関する意見や要望を含め、保育園に対する率直な意見や感想をご自由にお書きください。

## 保護者アンケート評価集計表

各分野	A	B	C	D	E	計
第Ⅰ分野	18	2	0	0	0	20
第Ⅱ分野	68	6	5	0	0	79
第Ⅲ分野	45	11	3	0	0	59
第Ⅳ分野	32	4	3	0	0	39
合計	163	23	11	0	0	197
比率 (%)	82.7	11.7	5.6	0	0	100

A：満足、B：まあ満足、C：少し不満、D：不満、E：判断できない

この評価に加えて、たくさんの貴重なご意見をいただきましたので、これらを十分に踏まえて達成度が低い項目の向上に努め、皆様のご期待と信頼に応えられるように職員一同、精一杯努力いたしますので、今後も率直なご意見やご要望をお聞かせくださいますようお願いいたします。

また、各職員は、Ⅰ「保育理念・保育目標の計画実施」、Ⅱ「発達理解と保育内容」、Ⅲ「健康・安全への危機管理」、Ⅳ「子ども・保護者の人権擁護・支援」、Ⅴ「職員間の連携交流と資質向上」、Ⅵ「苦情解決」、Ⅶ「要保護支援」の7分野について、3段階で自己評価すると

ともに、1年間を振り返って日常業務や保育会議等の状況を合わせ、各分野を総合的に評価しました。

## I 「保育園の理念・保育目標の計画実施について」

- (1) **園の運営の理念や方針の認識**については、園内研修は、ほぼ計画通り開催できました。例年より保育士間のコミュニケーションをより図るとともに、保護者からの評価も概ね肯定的になっています。
- (2) **保育計画の理解度**については、策定段階の検討や担当者同士の打ち合わせ等により相互理解に努めており、概ね実践に生かされています。
- (3) **情報発信**については、ホームページや園だより・栄養・保健・クラスだよりなど読みやすさに心がけ、積極的な情報発信に取り組むことが出来ました。

## II 「発達理解と保育内容について」

- (1) **日常の保育活動**については、本園が重点としているリズム活動や散歩などの実践には努力の成果が認められ、肯定的な意見が多く寄せられました。
- (2) 特に重視している**裸足保育、どろんこ遊び、リズム活動**については、細かい配慮を忘れずに、環境整備から実践まで一貫して取り組みました。
- (3) 子どもたちの**基本的な生活習慣や健康と安全管理**については、コロナやインフルエンザの感染防止には万全を期すとともに、職員間で連携をとり、ほぼ実施できました。事故件数も大幅に減り保護者からは高い評価を得ました。
- (4) **保育活動のレベル向上**については、毎月の保育会議や保育反省を通じて、情報の共有化や方向性の確認を行い、子どもの発達を促す保育に努めました。
- (4) **意見箱や第三者機関の周知**を図っていますが、その存在を認識していない保護者が多くいることが分かり、より一層の周知に努めていきます。

## III 「健康・安全への危機管理について」

- (1) **事故防止や保健衛生対策**については、事故防止のため遊具等の安全確保に努めるとともに、特に今年度はコロナウイルスに加え、インフルエンザの感染防止に向けた対応を保護者のご協力も得ながら保育園全体で取り組みました。
- (2) **保護者懇談会**については、予定したクラス懇談会はほぼ開催し、個人懇談で保護者との意志疎通をしっかりと図るように努め、子どもたちの様子や成長について貴重な意見交換ができました。
- (3) **家庭との連絡**に対するご意見があり、保護者の多種多様な相談・要望に対する保育士の丁寧な説明や対応などが必要となってきています。
- (4) 子どもたちの**基本的な生活習慣や健康と安全管理**については、コロナやインフルエンザの感染防止には万全を期すとともに、職員間で連携をとり、ほぼ実施できました。

事故件数も減り保護者からは高い評価を得ました。

#### IV「子ども・保護者の人権擁護について」

##### VII「要保護支援について」

- (1) 園児の体調の変化や家庭での生活状況を把握し、児童虐待が疑われるなど必要な場合は、胆振総合振興局や室蘭児童相談所苫小牧分室、市役所の関係機関とのきめ細かな連絡や連携により、保護者の意思を尊重しながら、適切な子育て支援に取り組めます。
- (2) 意見箱や第三者機関の周知を図っていますが、その存在を認識していない保護者が多くいることが分かり、より一層の周知に努めていきます。

##### V「職員間の連携交流と資質向上」について

- (1) 職員集団としての結束力は、事務分掌を明確にするとともに、担当以外のことについても補完し合うなど、組織として機能するよう取り組みました。
- (2) 保育士の資質向上については、年齢や経験年数に開きがあり、力量にもバラツキがあるため研修が必要ですが、コロナ禍の中では市内外で開催される園外研修の多くがZOOM開催に変更になっていました。しかし徐々に対面研修も増えてきており、前年同様に参加することができました。
- (3) 感染症も少しずつ落ち着いてきたことから、例年より保育士間のコミュニケーションをより密接に図るとともに、保護者からの評価も概ね肯定的になっています。

##### VI「苦情解決について」

- (1) 保護者とのコミュニケーションについては、交代変則勤務の中でもきめ細やかな連携を図りながら対応していますが、苦情も寄せられました。
- (2) 子ども1人1人にしっかり向き合うとともに保護者のニーズをしっかり理解した上で、子どもの成長に合わせた保育を提供しなければなりません。しかし保護者とのコミュニケーションが不足し、不安が次第に不信感に変わってしまうかもしれません。今後も保護者とのしっかりした信頼関係を構築してまいります。

#### 《総括的な評価と課題の改善に向けて》

- ① 知識や経験年数が異なる職員が勤務しているため、日頃から情報の共有化と声掛けを徹底して、意志の疎通を充分図るよう取り組んでいます。さらに職員相互の円滑なコミュニケーションに努めます。
- ② 組織で仕事をするという意識は浸透してきていると考えておりますが、これまで以上に担当の仕事を超えた園全体の業務に対する関心と理解を深めて、スムーズな協力体制がとれるよう取り組みます。

- ③ 園の運営理念や方針に関しては、徐々に理解が深まっていますが、今後とも職員会議や園内研修等の機会に園長や主任から説明し、日頃の保育活動に結びつけることができるよう努力します。
- ④ 保護者に向けては、主要行事後のアンケート集計結果と質問や要望に対する園からの説明を詳しくお知らせするほか、各クラスだより、保健・栄養だよりなど年に数回とするほか、必要に応じて発信するよう努めます。
- ⑤ 保育士の資質向上の取組では、職場内研修の企画を交代で担当したり、できる限り多くの職員を園外の研修に参加したりするとともに、参考資料の購入や紹介などにより職員の自己研鑽を奨励します。

苦情や要望等には、速やかかつ懇切丁寧に対応することと、送迎時などにも保護者の皆様と少しでもコミュニケーションを図れるように努めてまいります。

- ⑥ 昨年度から、これまで使っていた登降園システムをコードモンに変更しました。写真や動画を配信しますので、園での様子を確認していただけます。また、紙ベースでの園からのお知らせや保護者からの連絡もスマホで行うことによって、24時間、欠席や遅刻の連絡が届くため電話での対応が少なくなるとともに、紙の書類も減り、職員が園児にかかわる時間が増えました。